

平成28年8月8日

中部地方整備局 静岡国道事務所

「道路老朽化対策」パネル展を開催します ～高齢化する道路施設を次世代に引き継ぐために～

1. 概要

道路施設について、現状や、永く安全に使うための定期的な点検や修繕の取り組みを皆様にご紹介することを目的に「道路の老朽化対策」のパネル展を開催します。同時に、お子様向けにわかりやすく老朽化対策の取り組みを紹介した「橋をまもる」パネルも展示します。

パネル展は、静岡県道路メンテナンス会議中部地域部会内では5箇所での開催が予定しています。静岡県庁別館にて平成28年7月8日から順次開催し、今回で2回目の開催となります。

2. 開催場所

- 場所：道の駅 うつのやとうげ 宇津ノ谷峠下り 地域情報館（静岡市駿河区 うつのや 宇津ノ谷82-2）
- 実施時期：平成28年8月10日（水）～平成28年8月24日（水）

※今後の開催予定は、別紙パネル展実施予定をご確認ください。

詳細については下記問合せ先へご確認頂きますようお願い致します。

3. 配布先

静岡県政記者クラブ、静岡市記者クラブ

4. 問い合わせ先

中部地方整備局 静岡国道事務所 副所長 ゆい やすお 油井 康夫
総括保全対策官 まつおか りゅうじ 松岡 龍治

電話（054）250-8908 ファックス（054）250-8911

道路の異状を発見したら・・・道路緊急ダイヤル

#9910

（通話料無料・24時間受付）

○パネル展の主な内容

高度経済成長期に集中的に整備された道路施設は、急速に高齢化が進むことが確実で、老朽化対策は喫緊の課題となっています。

道路は、国民の共用資産であり、少しでも長く使えるように、きめ細かい点検と修繕を行って次世代へ引き継いでいくことが必要と考えています。

一方で、多くの道路施設を管理する地方公共団体は、予算・人員・技術の面で課題を抱えています。

具体的には、中部地整が管理している橋梁で、建設後50年以上を経過した橋梁の割合は、現在20%ですが、今後20年後には66%まで急激に増加することや、厳しい日本の環境条件や交通荷重繰り返しの影響などにより橋梁が損傷している現状、また、点検方法や損傷の事例を紹介し、メンテナンス会議など道路管理者が連携している状況を紹介しております。

そのような道路施設が置かれている状況や道路の老朽化対策の取り組みについて、広く皆様にご紹介するためパネル展を実施いたします。

○パネル展実施予定（静岡県道路メンテナンス会議中部地域部会内）

設置場所（予定）	実施時期（予定）
静岡県庁 別館 21 階	H28. 7. 8 ~ H28. 7.19（終了）
道の駅「 ^{うつのやとうげ} 宇津ノ谷峠」下り	H28. 8.10 ~ H28. 8.24（今回）
（焼津市役所大井川庁舎）	（H28.9）
（吉田町役場 ロビー）	（H28.10）
（富士市役所 ロビー）	（H28.12）

○展示パネル（一例）

